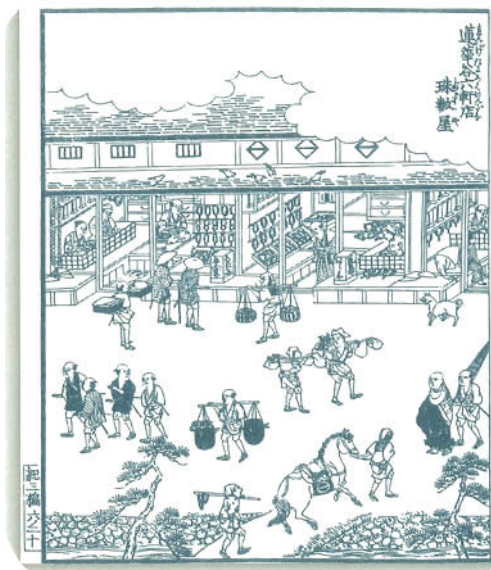


歴史書

7

2006

No. 166



通 信

珠数がつないだ商人たち／杉森玲子

歴史書新刊・重版ニュース〈5・6月〉

歴史書以外の人文社会図書新刊案内〈5・6月〉

歴史書懇話会

珠数がつないだ商人たち

杉森 玲子

(東京大学史料編纂所 助教授)

室町時代末から江戸時代前期にかけて制作された洛中洛外図屏風。そこに描かれた京都の町で商わっていたもののひとつに珠数がある。たとえば元和年間(1615～23)ごろの景観年代をもつ林原美術館本では、西本願寺の東に5軒、東本願寺の東にも2軒、珠数を売る店がみられ、酒屋や呉服屋ほどではないもののその数は決して少なくなかった。永正16(1519)年には薬座中小物売と珠数棚座中の争論があったことが知られており、近世初頭の京都には珠数を商う者が一定度存在していたのであろう。もっとも、ある時期までは居職の職人が珠数の販売も行なっており、やがて職人と商人が分化していったようである。現在でも両本願寺の東には珠数屋町、仏具屋町、珠数屋町通といった町や通りがあって珠数や仏具を扱う店が多いが、近世において、また現在でも、珠数玉の生産地に近江八幡があることはあまり知られていない。それは、近江八幡から出荷されるのは木材を削った玉に穴をあけた珠数木地で、玉に糸を通し房を付けて珠数を完成させる工程は京都で行なわれるためである。

八幡町共有文書のなかに残された近江八幡の珠数屋仲間の掟には、仲

間の取引先として京都があげられているが、珠数玉の流通の様相をそこに関わった人の動きから浮き彫りにしたのは、京都で寄宿渡世を営んでいた炭屋善三郎家の文書である。東京大学法学部法制史資料室に当初「京都珠数屋仲間文書」として保管されていたものは炭屋に伝来した文書群で、そこには近江八幡の珠数屋仲間との関係を示す多くの文書が含まれていた。遅くとも文政3(1820)年以降、炭屋は近江八幡の珠数屋仲間から珠数玉を預かって売捌きの世話を委託されており、仲間に対する立場を強めていった。京都の珠数卸問屋の手前で寄宿という意味での宿やどがそうした役割を果たしていた点が注目されるが、幕末の混乱に伴い寄宿という本来の渡世をゆるがされた炭屋の消息は明治期に入ってまもなくわからなくなる。珠数卸問屋の亀屋喜兵衛についても「商人買物独案内」に享保7(1722)年創業とあるほかに手がかりは得られなかった。

ところが最近、高野山の珠数屋とその仲間に関する古文書を閲覧する機会に恵まれ、京都との関わりを示す記述を見出すことができた。文政11(1828)年の史料では、往古は全山で100軒ほどあった珠数屋が昨今

は24軒になったとされているが、近世以来今に続いている珠数屋は1軒だけになった。それが今回古文書を見せて下さった元禄年間創業の「珠数屋四郎兵衛」（店名。御当主平田永一氏）で、現在は珠数や仏具を中心に各種土産品を販売している。

「紀伊続風土記」に記されているように、高野名産にあげられる菩提珠数には主に吉野山中に産する菩提樹の実が使われていた。釈迦が菩提樹のもとで悟りを開いたことから、その実で作られた珠数は功德の高いものとして尊ばれたが、吉野山の菩提樹の実には吉野山木本と呼ばれる仲間が高野山の珠数屋仲間以外には一粒も売らないことが定められていた。両者の取り替わした証文には吉野山喜蔵院の役人が奥印しており、喜蔵院文書のうちには高野山の珠数屋仲間の代表が喜蔵院役僧中にあてた菩提粒買取りについての申入書も伝来している。現在はそのような関係はないものの、明治期には3軒ほどの珠数屋が共同で山に土地を購入し、菩提樹を植えてその実を採っていたことがあったという。

珠数屋仲間の記録には、明和2(1765)年に「しゆす商売」のことで書状をやりとりした相手として亀屋喜兵衛の名があり、天明4(1784)年の弘法大師九百五十年忌では、亀屋は京都の藤屋利兵衛とともに沈香の施主となっている。享保19(1734)年の九百年忌に両家では品物がよく売れたという記述もあり、高野山の珠数屋仲間は京都の間屋との接点をすでに享保期にはもっていた可能性

もある。また、明和7年には吉野山木本に菩提樹の粒を買い受けたいと京都から申入れがあった一方で、文政11年には諸色高直ゆえ「京都仕入方」がうまくいかずに困った高野山の珠数屋仲間が、近江の者からの珠数木地買受けを検討するなど、商人たちはさまざまに関わっていた。

現在高野山では京都から完成品の珠数を仕入れており、珠数の流通には9割を超える割合で京都が関係しているという。そうした状況であらためて注目されたのが、明治期の史料に高野山の珠数屋の取引先として出てくる京都の亀井半七である。その住所は亀屋喜兵衛の店があった場所に近く、しかもその近所では現在、亀井珠数店（御当主今井隆氏）が製造卸を手がけていて、創業は亀屋と同じ享保7年だからである。

そこで京都に亀井珠数店を訪ねると、御当主のもとに保管されていた史料のなかに亀屋喜兵衛の名を確かめることができた。初代の喜兵衛は山城国久世郡西富野邑（京都府城陽市富野）の出身で、没年からすると元禄7(1694)年に生まれ28歳で創業したことになる。今井氏は初代亀屋喜兵衛から数えて11代目、亀井半七としては3代目にあたり、家庭内職や職方が珠数玉に糸を通し房を付け完成品として仕上げた珠数を業者に卸すという製造卸を営みながら、寺への出入や小売をしない同業9軒が集う京都珠数製造卸協同組合の理事長をつとめておられる。

珠数玉には、梅・紫檀・黒檀・鉄刀木・沈香・伽羅などの木玉、水晶

・瑪瑙・翡翠をはじめとする石物のほか、菩提樹の実や桃の種、珊瑚・真珠・象牙からガラス、プラスチックまでである。木目に対して縦に挽く算盤玉とは違って横挽きにする木の珠数玉のうち、紫檀や黒檀は近江八幡でも機械と手作業によって玉に仕上げられているが、白檀や沈香の玉作りは挽物師の仕事で、奈良の大宇陀にいた挽物師のほか、現在は大阪府松原市の業者から仕入れているという。石物はかつて水晶が産出し高度な研磨の技術をもつ甲府で、ガラス玉は得意先の多い京都に東京から越した業者が、というように玉の加工の場所や業者はさまざまであり、材料についてもたとえば菩提樹の場合、ネパールからインド、中国、ハワイと産地の範囲は広く、輸入品も多い。

目の細い糸で仮つなぎして送られてくるこれらの玉は、熟練の技により2～3工程で製品化される。亀井珠数店では京都をはじめ全国各地の業者にそれを卸しており、かつての取引先には樺太なども含まれていた。無数の珠数玉や紐類を収めた倉庫と、宗派、男女、僧俗によって作りの異なる珠数が並ぶ店内を丁寧案内して下さった今井氏によれば、京都が流通の中心になったのは分業の確立とその近代化によるところが大きいのではないかという。京都という都市の社会のあり方そのものが、糸屋や房屋、職方などの出入を伴って完成される珠数の生産や流通と不可分に関わっているという構造は今も変わっていないのである。

不躰なお願いにもかかわらず、快く古文書を見せて下さった「珠数屋四郎兵衛」の平田氏と、近世以来の系譜や卸問屋としてのお仕事の実際について熱心にご教示下さった亀井珠数店の今井氏のご厚意に深く御礼申し上げたいが、いずれにおいても話題になったのは「じゅず」の表記の仕方である。店の名前を含めて「珠数」を使ってきたのに、辞書には「数珠」とありそれが一般にも通用しているのは、発音とも合わずしっくりこないというのである。店を守ってこられたお立場では当然であろう。

中世の史料には「数珠」という表記もみられるが、近世にはほとんどの場合「珠数」と書かれている。現在は常用漢字表の付表(1981年)に掲げられた「数珠」が表記の基準とされているようだが、町や通り、店の名に長く「珠数」が使われてきた実態にもっと注意を払ってもよいのではないだろうか。

寺との関わりが強化され参詣に出かける人も増えた近世という時代。珠数や珠数屋は現代よりも身近な存在だったかもしれない。珠数が商品になるまでの過程に携わる職人や、流通を通じて新たな関係を築いていく商人の姿からは、都市社会の懐の深さが垣間見えてくるようである。

表紙図版 「蓮華谷六軒店珠数屋」
 (『版本地誌大系9 紀伊國名所圖會』臨川書店、平成8年)

新刊ニュース

5・6月発行図書 *発売は予定のものもあります

歴史一般

辞典／年表・地図／歴史学・補助学

歴史に気候を読む

吉野正敏著

四六判 200頁 2,100円

学生社〔6月刊〕

気象を利用した孫子や太公望の軍略、寒冷期に衰退したバイキング、川中島の合戦と気象等、歴史上の出来事に刻まれた気候や気象を解く。

4-311-20296-2

考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

北の防御性集落と激動の時代

小口雅史・三浦圭介編

A 5判 280頁 予価7,000円

同成社〔6月刊〕

古代北日本の各地に多く出現する「防御性集落」を考古学・古代史から究明し、戦乱のさなかにあった北日本の激動期の実相に迫る。

4-88621-362-6

旧石器時代の地域編年的研究

安斎正人・佐藤宏之編

B 5判 372頁 14,700円

同成社〔5月刊〕

従来の旧石器編年の限界・矛盾を問いただし、全国の地域編年の現状を把握するとともに、構造変動論のための全国編年の可能性を探る。

4-88621-358-8

古代国家と道路

考古学からの検証

近江俊秀著

A 5判 275頁 5,565円

青木書店〔6月刊〕

中央と地方を結ぶ幹線道路＝七道駅路の構造・構築方法を発掘調査から復元し、古代の交通制度から律令国家の地方支配のあり方を検証する。

4-250-20615-7

古代東国の窯業生産の研究

渡辺 一著

A 5判 450頁 8,400円

青木書店〔5月刊〕

従来の西国を中心とした須恵器観に対し、東国独自の窯業生産の実態と特質を技術・経営形態・流通の面から体系的に追究し、新たな視点を提示する。

4-250-20610-6

江戸八百八町に骨が舞う

人骨から解く病氣と社会 歴史文化ライブラリー-213

谷畑美帆著

四六判 220頁 1,785円

吉川弘文館〔5月刊〕

將軍から遊女まで、骨は口ほどにものを言う…。発掘された人骨に残された痕跡を観察し、病氣の種類、環境や暮らしを復元する。

4-642-05613-0

アフガニスタン文化遺産調査資料集 第3巻

アフガニスタン流出文化財の調査

独立行政法人文化財研究所企画・編集

A 4判 196頁 9,975円

明石書店〔5月刊〕

現在「文化財難民」として日本で一時的に保護されているバーミヤーン仏教壁画片41点を、最新の科学的手法で調査・分析する。

4-7503-2339-X

古代エジプト 文明社会の形成

学術選書012・諸文明の起源 2

高宮いづみ著

四六判 300頁 1,890円

京都大学学術出版会〔6月刊〕

エジプト特有の自然環境のなかで人々はいかにして生活を営み、それが高度な文明社会形成にたどりついたかを描く。

4-87698-812-9

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

山陽道駅家跡

日本の遺跡11
岸本道昭著

四六判 198頁 1,890円

同成社〔5月刊〕

初めて駅家と確定された布勢駅家遺跡の発掘調査に携わった著者が、古代の山陽道とその沿道に設置された駅家について平易に解説する。
4-88621-357-X

秋田城跡

日本の遺跡12
伊藤武士著

四六判 198頁 1,890円

同成社〔6月刊〕

古代東北地方の軍事・行政の中心地であり、日本海を通じて北方や大陸に開かれた窓口として重要な役割を果たした秋田城の実態に迫る。
4-88621-360-X

雑穀Ⅱ【もの】から見る日本史

粉食文化論の可能性
木村茂光編

A 5判 236頁 3,150円

青木書店〔6月刊〕

そうめんの起源から即席麺まで——古代から現代までの日本を中心としたアジアのさまざまな粉食の歴史を探り、新たなる食文化論の構築をめざす。
4-250-20614-9

数の日本史事典

阿部 猛著

四六判 192頁 予価1,900円

同成社〔6月刊〕

単位語から政治、経済、文学、芸能、歴史的事件にいたるまで、数にちなんだ重要用語を精選し収録。読んで面白い日本史事典。
4-88621-361-8

盗賊の日本史

阿部 猛著

四六判 258頁 1,995円

同成社〔5月刊〕

日本の代表的な盗賊石川五右衛門や鼠小僧次郎吉など、歴史に登場する有名・無名幾多の盗賊にまつわる史料を拾い集め、興味つきないエピソードを満載。
4-88621-356-1

昭和初期一移民の手紙による生活史

ブラジルのヨッチャン
中野卓・中野進編

A 5判 260頁 2,940円

思文閣出版〔5月刊〕

昭和3年（1928）1月、ブラジルへ移民として出国した中野義夫が日本へ送った書簡を中心に編纂。昭和という時代の一側面をとらえた貴重な資料。
4-7842-1301-5

本能寺史料 中世篇

藤井學・上田純一・波多野郁夫・安国良一編

A 5判 446頁 15,750円

思文閣出版〔6月刊〕

戦国期末に隆盛期を迎える本能寺にとって、宗史・寺史の中核といえる中世から寛永期までの文書を中心に収録した一書。
4-7842-1305-8

大日本近世史料 細川家史料之20

(通巻126)

東京大学史料編纂所編

A 5判 540頁 14,700円 東京大学出版会〔6月刊〕

旧肥後藩主細川家に伝来した文書・藩庁記録類のうち、近世に関する重要な史料を選んで編纂する。江戸時代の大名史料として、極めて豊富な内容を持つ。
4-13-093060-5

大日本近世史料 市中取締類集27

(通巻127)

東京大学史料編纂所編

A 5判 424頁 8,610円 東京大学出版会〔6月刊〕

江戸市中取締りに関する触書・町触をはじめ、老中・町奉行・与力・同心・町年寄・町名主等の間に取り交わされた達書・伺書・上申書・届書その他の関係書類を、江戸町奉行所の市中取締掛で整理・分類して編纂したもの。
4-13-093027-3

大日本古文書 益田家文書之3

(通巻216)

東京大学史料編纂所編

A 5判 358頁 8,085円 東京大学出版会〔6月刊〕

写本『益田家什書』によって利用されてきた、計125軸の卷子部分の文書を、東京大学史料編纂所蔵の原本から翻刻したものである。
4-13-091293-3

大日本古文書 東寺文書之14

(通巻215)

東京大学史料編纂所編

A 5判 338頁 7,980円 東京大学出版会〔6月刊〕

京都東寺に伝来した文書は、現在「東寺文書」「教王護国寺文書」等いくつかの文書群に分けられて保管されているが、それらのうち京都府立総合資料館所蔵の「東寺百合文書」を翻刻したものである。 4-13-091114-7

大日本史料 第1編補遺(別冊4)

(通巻377)

東京大学史料編纂所編

A 5判 342頁 6,300円 東京大学出版会〔6月刊〕

上は六国史に続き、明治維新までのおよそ980年間の政治・経済をはじめ、その他社会の各方面に起こった国史上の事件を、年月日を逐って掲記し、各事件の下、それに関する諸史料すなわち、日記・古文書をはじめとして、随筆・雑著の類まで、細大もれなく原文のまま収載し、又図書・実物等で史料として貴重なものは、これを撮影して挿入してある。明治34年2月に第6編之1を発行以来現在まで刊行したものの381冊。

大日本史料 第5編之33

(通巻378)

東京大学史料編纂所編

A 5判 464頁 9,870円 東京大学出版会〔6月刊〕

大日本史料 第9編之24

(通巻379)

東京大学史料編纂所編

A 5判 464頁 10,290円 東京大学出版会〔6月刊〕

大日本史料 第10編之25

(通巻380)

東京大学史料編纂所編

A 5判 404頁 9,975円 東京大学出版会〔6月刊〕

大日本史料 第12編之58

(通巻381)

東京大学史料編纂所編

A 5判 392頁 7,140円 東京大学出版会〔6月刊〕

第1編補遺 4 4-13-090044-7

第5編之33 4-13-090233-4

第9編之24 4-13-090424-8

第10編之25 4-13-090475-2

第12編之58 4-13-090608-9

評制下荷札木簡集成

奈良文化財研究所編

A 4判 168頁 5,250円 東京大学出版会〔6月刊〕

行政単位・貢進者名等の書かれた339点の荷札木簡を原寸大の写真および釈文・解説をつけて刊行し、古代国家形成の実態に迫る。

4-13-020142-5

戦国遺文 武田氏編 第6巻

第6回配本(全6巻)

柴辻俊六・黒田基樹・丸島和洋編

A 5判 418頁 17,850円 東京堂出版〔5月刊〕

武田氏関係文書を編年式に収録する史料集。本巻は武田家朱印状年未詳、諸氏年未詳文書、穴山勝千代文書、武田氏受給文書、補遺、人名・地名索引を収録。 4-490-30638-5

石山寺資料叢書 第Ⅱ期全11巻

寺誌篇第一

石山寺文化財総合調査団編

A 5判 608頁 27,300円 法蔵館〔5月刊〕

石山寺所蔵の寺誌資料のうち特に重要な三種の解説と翻刻。すべて尊賢僧正の編になるもので、堂舎什物の沿革記録として貴重な「石山要記」「石山寺年代記録」「石山寺僧宝伝」を収録。 4-8318-7679-8

写真集 明治の記憶

学習院大学所蔵写真

学習院大学史料館編

A 4判 248頁 9,450円 吉川弘文館〔6月刊〕

明治天皇の巡幸、千島列島の開拓、八甲田山雪中行軍など、稀少な写真を多数収録する。明治の世相を現在に伝える、第一級の資料。

4-642-03776-4

大化改新

朝河貫一著 矢吹晋訳

A 5判 630頁 予価9,975円 柏書房〔6月刊〕

朝河史学の出発点である「大化改新」研究を、初めて邦訳。オリジナル英文も同時収録。古代史上の謎・「大化改新」の実像を解き明かす。 4-7601-2945-6

大和の古代寺院跡をめぐる

網干善教著

四六判 224頁 2,310円

学生社〔6月刊〕

飛鳥・藤原・平城京の時代に建立され、白鳳・天平の荘厳を誇りながら、いまはなき大和の数々の寺院跡を巡礼し、現在の様子や寺院の縁起・歴史等を語る。 4—311—20293—8

日本古代王権の研究

荒木敏夫著

A 5判 376頁 8,925円

吉川弘文館〔6月刊〕

王権とは何か。倭王権の権力構造、ミコ・ヒメミコ論、「聖徳太子」不即位の理由、幼帝・三后制の意義、女帝と王位継承の問題などを探る。 4—642—02449—2

日本古代の写経と社会

宮崎健司著

A 5判 654頁 18,900円

塙書房〔5月刊〕

奈良時代の個別写経事業を検討、その政治史的背景と仏教思想的意義を考察する。また一切経の実態を解明し、日本における受容の状況・展開を究明。 4—8273—1203—6

日本初期中世社会の研究

木村茂光著

A 5判 340頁 10,000円

校倉書房〔5月刊〕

その時期の独自性を示す時代概念が必要だとし、あえて「中世成立期」とはわず、「初期中世社会」という言葉を用い、その歴史的特質を考察した。 4—7517—3740—6

Women in Medieval Japan

Motherhood, Household, Management and Sexuality

脇田晴子著 アリソン時田訳

菊判 400頁 8,610円 東京大学出版会〔5月刊〕

日本女性史研究をリードしてきた著者の主著（『日本中世女性史の研究』1992年小会刊）の英訳。中世的な「家」や中世社会の構造分析に新たな視点を提示する。4—13—027033—8

日本中世の仏師と社会

蓮慶と慶派・七条仏師を中心に

根立研介著

B 5判 454頁 16,800円

塙書房〔6月刊〕

平安時代中期を彫刻史の画期とみなし、仏師の造仏の動向や社会的位置づけ等を解明、中世仏師を体系的に捉え直した力作。 4—8273—1204—4

『遊心安楽道』と日本仏教

愛宕邦康著

四六判 216頁 予価2,940円

法蔵館〔6月刊〕

新羅元暁の著述として日本仏教に影響を与えてきた『遊心安楽道』は、本当はいつ誰が撰述したのか。今後の日韓仏教史研究の新たな方向性と可能性を示唆する書。 4—8318—6034—4

境界をまたぐ人びと

日本史リブレット28

村井章介著

A 5変型判 116頁 840円 山川出版社〔5月刊〕

前近代の「日本国」とその外とを区切る境界を考察しながら、境界をまたがった人々の姿を、蝦夷・契丹との媒介者・博多と対馬・鬼界島・竹島を例に描く。4—634—54280—3

中世京都の都市と宗教

河内将芳著

A 5判 420頁 7,140円

思文閣出版〔5月刊〕

中近世の京都の信仰と宗教のありかたを、祇園会（祇園祭）と法華宗の関係、また京都に本拠をおいた統一権力の宗教政策を問うことにより明らかにする。 4—7842—1303—1

戦国期宗教思想と蓮如

大桑 斉著

A 5判 330頁 7,875円

法蔵館〔5月刊〕

仏教諸宗に中興と呼ばれる宗教者が現われ、現在の宗派分布の礎が築かれた15—16世紀、宗教思想がどのように展開したかを、最高神観念の形成という観点から明らかにする。 4—8318—7467—1

中世東国の荘園公領と宗教

峰岸純夫著

A 5判 384頁 9,975円

吉川弘文館〔5月刊〕

足利・安達氏らを輩出した荘園・公領の実態と宗教の展開を、文献・考古資料を渉猟し解明。遺跡の保存と地域史研究の重要性を説く。 4—642—02854—4

室町戦国の社会

商業・貨幣・交通 歴史文化セレクション

永原慶二著

四六判 336頁 2,415円 吉川弘文館〔6月刊〕

日本的な障子・畳の住居、能や茶・花道などの文化が生まれた時代。民衆が歴史の舞台に現れ、村落・町で躍動し始めた社会を多面的に描く。

4—642—06298—X

F.ベアト写真集2

外国人カメラマンが撮った幕末日本

横浜開港資料館編

B5判 136頁 2,310円 明石書店〔5月刊〕

英国籍カメラマン、F.ベアトが横浜・江戸・長崎など各地で撮影した風景、風物、風俗など全130点を収録。いま、日本の原風景が蘇る。

4—7503—2329—2

近世武家社会の儀礼と交際

岡崎寛徳著

A5判 392頁 10,000円 校倉書房〔5月刊〕

近世の将軍や大名の社会的行動は、儀礼・儀式の連続によって立場を維持してきたように見える。大名・旗本の視点から諸儀礼や幕政・藩政を検討した。

4—7517—3730—9

近世畿内・近国支配の構造

岩城卓二著

A5判 420頁 7,140円 柏書房〔5月刊〕

幕藩権力による、軍事拠点・大阪を中心とした畿内・近国支配構造の実像に迫る意欲作。江戸幕府が考えた大阪の役割とは？

4—7601—2855—7

近世儒者の思想挑戦

本山幸彦著

A5判 314頁 7,875円 思文閣出版〔5月刊〕

林羅山・熊沢蕃山・貝原益軒・荻生徂徠・松平定信・佐久間象山などの思想家が各々の時代の課題とどのようにとり組み、解決策を提示したかを明かす。

4—7842—1304—X

江戸町触集成 第20巻 索引

近世史料研究会編

A5判 362頁 15,750円 塙書房〔6月刊〕

江戸の町政全般にわたって町奉行所が発した町触類を可能な限り集大成した基礎史料。第20巻は索引。十余年の歳月をかけ、ここに完結。

4—8273—1130—7

赤穂浪士の実像

歴史文化ライブラリー214

谷口眞子著

四六判 218頁 1,785円 吉川弘文館〔6月刊〕

日本人の心を魅了する『忠臣蔵』。「勸善懲悪」の物語から赤穂事件を解き放つ。大石内蔵助らの行動・思想を捉え、事件の真相に迫る。

4—642—05614—9

近世大坂の都市社会

塚田 孝著

A5判 336頁 8,400円 吉川弘文館〔5月刊〕

さまざまな身分集団が重層的に活動した近世都市・大坂。都市法の整備、茶屋株と都市開発、かわた村の商人の活動を、独自の視点から追及。

4—642—03411—0

近世国家解体過程の研究 前編・後編

幕藩制と明治維新

藤野 保著

A5判 平均790頁 揃価52,500円 吉川弘文館〔6月刊〕

幕府と藩との対抗関係を基軸に、幕政改革と藩政改革の諸段階、幕末諸藩の政治動向を検証。全国の藩を分析した前人未踏の体系的大著。

前編4—642—03412—9 後編4—642—03413—7

百姓一揆と義民の研究

保坂 智著

A5判 392頁 9,450円 吉川弘文館〔6月刊〕

闘争形態や持物など「作法」の分析と、義民物語の成立過程から、従来の百姓一揆像を解体。幕藩制国家の中に百姓一揆を位置づける。

4—642—03414—5

国境を越える歴史認識

日中対話の試み

劉傑・三谷博・楊大慶編

A5判 400頁 2,940円 東京大学出版会〔5月刊〕

近現代の日中関係史を形成し争点となってきた事件・問題についてさまざまな視点から整理し、共通理解への道筋を探る。日中若手研究者らによる共同研究の成果。

4—13—023053—0

国境の植民地・樺太

増選書104

三木理史著

B 6判 184頁 1,890円

塙書房〔5月刊〕

大国の狭間で国境が度々移動、地名や主産業が変化し、多民族が混在した樺太（サハリン）の近・現代をたどり、国境・民族・植民地の問題を見つめ直す。 4-8273-3104-9

近代日本の海外学術調査

日本史リブレット64

山路勝彦著

A 5変型判 116頁 840円

山川出版社〔5月刊〕

台湾・シベリア・南洋諸島・満州など、明治～戦前期に異文化研究を志した人類学者の足跡を、植民地行政との関わりのなかで考える。 4-634-54640-X

天皇の軍隊と日中戦争

藤原 彰著

四六判 288頁 2,940円

大月書店〔5月刊〕

戦後の日本現代史をリードした著者晩年期の論文を精選収録。なかでも最後に取り組んだテーマ「三光作戦」は今後の研究の礎石となるであろう。 4-272-52076-8

写真でよむ昭和モダンの風景

1935年-1940年

津金澤聡廣監修

B 5判 460頁 15,750円

柏書房〔5月刊〕

戦前の、皇族や華族をはじめ、政治家・軍人・財閥などの上流階級に属した人々のモダンな生活が詳細にわかる写真を、テーマ別に構成。 4-7601-2914-6

兵庫県の歴史散歩 上

歴史散歩28

兵庫県の歴史散歩編集委員会編

B 6変型判 320頁 1,260円 山川出版社〔6月刊〕

史跡・文化財をたずね歩く都道府県別のシリーズ。文化財公開施設・散歩便利帳・参考文献など付録も充実。本書の構成は、神戸・阪神・淡路。 4-634-24628-7

兵庫県の歴史散歩 下

歴史散歩28

兵庫県の歴史散歩編集委員会編

B 6変型判 320頁 1,260円 山川出版社〔6月刊〕

史跡・文化財をたずね歩く都道府県別のシリーズ。文化財公開施設・散歩便利帳・参考文献など付録も充実。本書の構成は、東播磨・西播磨・丹波・但馬。 4-634-24828-X

大坂

摂津・河内・和泉 街道の日本史33

今井修平・村田路人編

四六判 304頁 2,730円

吉川弘文館〔6月刊〕

瀬戸内海航路の窓口大阪湾と、その周辺に栄えた摂河泉。難波宮、貿易港堺、秀吉の築城から天下の台所へ。大阪の過去と現在をゆく。 4-642-06233-5

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

20世紀中国の国家建設と「民族」

王柯著

A 5判 336頁 5,250円 東京大学出版会〔6月刊〕

思想のなかに存在する「民族」と、現実の版図に生きる「民族」。歴史と思想と現実との狭間で格闘する思想家、政治家、そして少数民族の軌跡をあとづけ、多民族国家中国のゆくえを考える。 4-13-021070-X

脱植民地化とナショナリズム

英領北ボルネオにおける民族形成

山本博之著

A 5判 368頁 8,610円 東京大学出版会〔5月刊〕

多様な文化が往来し、さまざまな民族が暮らす北ボルネオ地域（サバ）。複数の民族が共存しながら模索する「戦わないナショナリズム」とはなにか。 4-13-026127-4

シェバの女王

ヒストリア22

部勇造著

B 6変型判 192頁 1,365円 山川出版社〔5月刊〕

さまざまな伝説が残っているシェバの女王。デフォルメされた歴史的事実が幾重にも重なって出来上がった伝説を明らかにする。 4-634-49193-1

結衆・結社の日本史

結社の世界史1

福田アジオ著

四六判 336頁 3,360円 山川出版社〔6月刊〕

日本の人々は何のようなかたちの集団を形成してきたのか。座、講、社中、倶楽部、NPOなど各時代における代表的な結衆・結社を取り上げ、多面的に考察する。4-634-44410-0

ローマ皇帝群像2

西洋古典叢書第Ⅲ期

アエリウス・スバルティアヌスほか著/桑山由文ほか訳

四六変型判 360頁 予価3,570円 京都大学学術出版会〔6月刊〕

五賢帝時代の後の暗愚の皇帝コンモドゥス、暴君カラカラなど、11人の皇帝を取載。ローマ帝国史研究に重要な役割を果たす。本邦初訳。4-87698-164-7

古代末期の世界〔改定新版〕

ローマ帝国はなぜキリスト教化したか?

ピーター・ブラウン著 宮島直機訳

四六判 233頁 2,940円 刀水書房〔6月刊〕

古代末期を中世への移行期とするのではなく独自の文化的世界と見なす画期的な書。鬼才P. ブラウンによる「この数十年の間で最も影響力をもつ歴史書!」4-88708-354-8

ヘロドトスとトゥキュディデス 歴史学の始まり

ヒストリア23

桜井万里子著

B6変型判 192頁 1,365円 山川出版社〔5月刊〕

偉大な歴史家ヘロドトスとトゥキュディデス。彼らが生きた時代と作品の意図、叙述の背景を明らかにするとともに、歴史叙述が歴史学にいたる端緒を探る。4-634-49194-X

イギリス近現代女性史研究入門

河村貞枝・今井けい編

A5判 284頁 3,675円 青木書店〔5月刊〕

ジェンダーの視点から、家族と教育、政治、労働、福祉、帝国など、重要なテーマごとに研究の現在と課題を示す。第一線研究者による学問への誘い。4-250-20613-0

ヴィクトリア朝英国と東アジア

大手前大学比較文化研究叢書

川本皓嗣・松村昌家編

A5判 280頁 3,360円 思文閣出版〔5月刊〕

近代化過程にあった日本・中国・朝鮮とヴィクトリア朝英国との文学・美術・社会・思想などの分野における文化交流誌。4-7842-1297-3

帝国の終焉とアメリカ-アジア国際秩序の再編

渡辺昭一編

四六判 328頁 予価3,200円 山川出版社〔5月刊〕

20世紀のアジアにおけるイギリスからアメリカへのヘゲモニーの交替の過程を、南アジア・東南アジアを中心に、政治・経済・軍事の各側面から探る。4-634-64019-8

紛争のなかのヨーロッパ中世

F.L. チェイエットほか著/服部良久編訳

A5判 392頁 6,300円 京都大学学術出版会〔6月刊〕

ヨーロッパの歴史研究で、いま最もホットなテーマが「中世紛争」である。世界的に著名な論文12篇を取載した必携の書。4-87698-684-3

古代エジプト文明の秘宝-ピラミッド・ツタンカーメン・神殿

仁田三夫編

A5判 128頁 1,890円 山川出版社〔5月刊〕

ピラミッドや神殿、ツタンカーメンの黄金秘宝の数々など、エジプト文明の遺産のハイライトをすばらしい写真で紹介する。古代エジプトを知るための入門書。4-634-64023-6

アメリカ史のなかの人種

世界史リブレット91

山田史郎著

A5変型判 96頁 765円 山川出版社〔6月刊〕

本書では、男女関係と結婚をめぐる制度と慣習から、白人とその他の人種とを区別するために取られてきたさまざまな方策を明らかにする。4-634-34910-8

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

書で見る 日本人物史事典

坪内稔典監修

A 4判 272頁 予価9,975円 柏書房〔6月刊〕

聖徳太子、空海、宮本武蔵から西郷隆盛、宮沢賢治、手塚治虫まで。日本の歴史上の人物123人について、書を切り口に生涯を紹介する事典。 4-7601-2857-3

シリーズ都市・建築・歴史 4

中世の文化と場

鈴木博之・石山修武・伊藤毅・山岸常人編

A 5判 312頁 4,410円 東京大学出版会〔5月刊〕

制度・政治に縛られない自由な「文化」が開いた14—16世紀。躍動の時代の都市における、建築・空間のあり方を生き生きと描き出す。 4-13-065204-4

シリーズ都市・建築・歴史 6

都市文化の成熟

鈴木博之・石山修武・伊藤毅・山岸常人編

A 5判 400頁 4,620円 東京大学出版会〔6月刊〕

技術や民間資本の経済機構の成長のもとに都市のインフラ整備がすすみ、民衆文化の隆盛とともに重層的な発展をとげた17—19世紀。移行期に生まれた「近代」的諸相を析出する。 4-13-065206-0

江戸文化をよむ

倉地克直著

四六判 340頁 2,940円 吉川弘文館〔5月刊〕

いきと遊興、西鶴と浮世、城郭と風流、自然観、幕末の儒学など、300年にわたる江戸文化のすべてを分かりやすく解説した入門書。 4-642-07958-0

江戸呪術教本

邪呪呪禁法則

羽田守快解説

A 5判 400頁 予価8,400円 柏書房〔6月刊〕

庶民の間で願い事や病気治しに使われていた、江戸時代の家庭用まじない教本を復刻。詳細な解説をつけて現代に甦らす。 4-7601-2846-8

捏造された聖書

バート・D・アーマン著 松田和也訳

四六判 256頁 2,310円 柏書房〔5月刊〕

聖書の「原典」とはいかなるものなのか。誤謬と捏造に満ちた聖書の謎に迫るノンフィクション。「ニューヨークタイムズ」ベストセラー。 4-7601-2942-1

上賀茂のもり・やしろ・まつり

大山喬平監修／石川登志雄・宇野日出生・地主智彦編

A 5判 400頁 2,940円 思文閣出版〔6月刊〕

もりのいとなみ(歴史篇)・まつりといのり(文化篇)・やしろのまかない(諸国荘園篇)の3部構成で上賀茂(賀茂別雷)神社の歴史を平易に明かす。 4-7842-1300-7

中世南都の僧侶と寺院

追塩千尋著

A 5判 356頁 9,450円 吉川弘文館〔5月刊〕

鎌倉期に革新運動を行った南都仏教。その淵源を探り、中世的展開を薬師寺・大安寺・広隆寺の信仰などから追求。信仰の内実を解明する。 4-642-02856-0

神話と歴史

歴史文化セレクション

直木孝次郎著

四六判 314頁 2,415円 吉川弘文館〔5月刊〕

教育界・歴史学界で論議をよんだ「紀元節」問題や歴史教育への神話導入などに、鋭い批判と厳しい良心で取組んだ名著が今よみがえる！ 4-642-06296-3

糞掃衣の研究

その歴史と聖性

松村薫子著

四六判 約200頁 予価2,940円 法蔵館〔6月刊〕

「糞掃衣」という僧侶が着る衣服が、特別性をもつのはなぜか。袈裟をつくる集団〈福田会〉を实地調査し、製作活動やそれをささえる言説(理念)、その歴史的展開などから考察する。 4-8318-6033-6

江戸の声

黒木文庫でみる音楽と演劇の世界
黒木文庫特別展実行委員会著 ロバート・キャンベル編
B5判 296頁 3,990円 東京大学出版会〔6月刊〕

東京大学教養学部国文学漢文学教室に保管されていた近世演劇・芸能・音楽史の資料群、黒木勘蔵文庫。この黒木文庫の全体像を明らかにする。
4-13-080206-2

江戸ッ子

歴史文化セレクション
西山松之助著
四六判 224頁 1,785円 吉川弘文館〔5月刊〕

「江戸ッ子」とは何か。その実体と、成立が江戸独特の都市条件によることを実証。江戸ッ子にかかわる「いき」「通」を探る。
4-642-06297-1

季刊東北学 第7号

東北芸術工科大学東北文化研究センター
A5判 324頁 2,000円 柏書房〔5月刊〕

特集は、廃村一少子高齢化時代を迎えて。いま、農村になにが起こり、また起ころうとしているのか。暮らしを生かす方策はないのかを考える。
4-7601-2944-8

俗信の世界

宮田登 日本を語る4
宮田 登著
四六判 246頁 2,730円 吉川弘文館〔5月刊〕

人は神仏に何を祈るのか。祈願・禁忌・占い・まじないなどを通して解明。絵馬から都市の怪異まで、現代における宗教の意味を明らかにする。
4-642-07136-9

暮らしと年中行事

宮田登 日本を語る5
宮田 登著
四六判 232頁 2,730円 吉川弘文館〔6月刊〕

正月や盆・節供など、四季折々に繰り返される年中行事。神祭りや夏祭りをキーワードに、行事の意味と生活リズム、季節感を探り出す。
4-642-07137-7

痛みと怒り

圧政を生き抜いた女性のオーラル・ヒストリー
大阪外大グローバル・ダイアログ研究会編
A5判 200頁 1,890円 明石書店〔5月刊〕

チリ、インドネシア、南アフリカ共和国という3つの異なる地域で圧政による弾圧を受けた3人の女性の語りと、それを通して浮き彫りにされる暴力の記憶。 4-7503-2331-4

伝記

井伊直弼

幕末維新の個性6
母利美和著
四六判 256頁 2,730円 吉川弘文館〔5月刊〕

“独裁者”と評された大老井伊直弼。だが、実像はまったく違った。茶道と武士道を重んじ、凜とした政治信条に生きた個性に迫る！
4-642-06286-6

雑誌

日本歴史

6月号(第697) = 5月刊
7月号(第698) = 6月刊
日本歴史学会編集
A5判 146頁 780円 吉川弘文館〔5・6月刊〕

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。
一年間直接購読料8,300円〔送料込〕
◆各種割引制度有
二年間前払い16,000円〔送料込〕
三年間前払い23,500円〔送料込〕
学生・院生一年間5,000円〔送料込〕

歴史書以外の——

人文社会図書新刊案内

2006. 5・6

— 明石書店 —

ネオリベ化する公共圏 壊滅する大学・市民社会からの自律 桂秀実、花咲政之輔編A 5判	1,575円	4月
自殺予防事典 エヴァンズ、ファーブローウ著A 5判	7,140円	5月
子どもを犯罪から守る 内野真著四六判	1,890円	5月
人権事典【第2版】 ロバートソン著四六判	4,725円	5月
戦争を生きた人びと 宮川やすえ著四六判	1,575円	5月
ブータンにみる開発の概念 若者たちにとっての近代化と伝統文化 上田晶子著四六判	4,725円	5月

— 大月書店 —

現代教育のキーワード 教育科学研究会編A 5判	2,625円	5月
さよなら、消費社会 カルチャー・ジャマーの挑戦 カレ・ラースン著四六判	2,310円	6月

— 京都大学学術出版会 —

日仏交感の近代 —文学・美術・音楽 宇佐美斉編著A 5判	4,935円	5月
デモステネス 弁論集1 デモステネス著／加来彰俊ほか訳四六変型判	5,250円	5月

— 思文閣出版 —

三藐院 近衛信尹 残された手紙から 前田多美子著A 5判	2,415円	5月
--------------------------	-----------	--------	----

— 東京大学出版会 —

官庁セクショナリズム 行政学叢書1 今村都南雄著四六判	2,730円	5月
財政投融資 行政学叢書2 新藤宗幸著四六判	2,730円	5月
刑事訴訟法講義 第2版 池田修・前田雅英著A 5判	3,780円	6月
〈悪しき〉文化について ヨーロッパとその他者 足立信彦著A 5判	3,990円	6月
健康・医療から考える公共性 公共哲学19 市野川容孝・金泰昌編A 5判	4,725円	6月

— 刀水書房 —

オーストリアの民話 アルプスの人びとの世界 窪明子著四六判	2,520円	5月
----------------------------	----------	--------	----

— 法 藏 館 —

浄土の再認識 桜井鎔俊著四六判	1,680円	5月
いのちのよび声 歎異抄講話Ⅲ 藤田徹文著四六判	1,680円	5月
宗教の祈り 親鸞の願い 高田信良著四六判	1,680円	5月

第13回 東京国際ブックフェア2006

- | | | |
|------|---------------|--------------------|
| 同時開催 | ■ 自然科学書フェア | ■ 編集制作プロダクション フェア |
| | ■ 人文・社会科学書フェア | ■ 学習書・教育ソフト フェア |
| | ■ 児童書フェア | ■ デジタル バブリッシング フェア |

会期中限定の割引セールを実施!

書籍・洋書・専門書などあらゆるジャンルの本が割引価格で購入できます。

- 会 期：2006年7月6日[木]～9日[日]
※8日[土]・9日[日]は一般公開日
 時 間：10:00～18:00
 会 場：東京ビッグサイト
 入 場 料：1,200円(税込み)
(8日[土]・9日[日]に限り小学生以下は入場無料)
 主 催：東京国際ブックフェア実行委員会
 リード エグジビション ジャパン株式会社



世界30カ国、750社の本が一堂に集結!

歴史書懇話会も出展します

歴史書懇話会16社の新刊や復刊、話題の本を中心に品揃えます。会期中にご来場のお客様には「歴史図書総目録2006」と「歴史書通信」の最新号を差し上げます。ぜひ、東京国際ブックフェアにお越し下さい!

 本展の招待券をもらえなくプレゼント! (1,200円相当)

プレゼントの応募は下記のいずれかの方法で

- ホームページからのお申込み www.bookfair.jp/ad/
- FAXまたはハガキでのお申込み

①住所 ②氏名 ③職業(勤務先) ④電話番号 ⑤本誌名
を明記のうえ、下記宛先までお送りください。

締切は6月23日(金) 消印有効

リード エグジビション ジャパン株式会社 「東京国際ブックフェア招待券プレゼント係」
 〒163-0570 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル18F
 TEL: 03-3349-8507 FAX: 03-3344-2400

歴史書懇話会特設店

- | | | |
|-----------|--------|--|
| 旭屋書店 | 札幌店 | 〒060-0005 札幌市中央区北5条西2-5
ステラプレイス5F
☎011-209-5181 |
| ジュンク堂書店 | 仙台店 | 〒980-0021 仙台市青葉区中央4-1-1
☎022-265-5656 |
| 岩瀬書店 | 富久山店 | 〒963-8051 郡山市富久山町八山田
字大森新田36-1
☎024-936-2220 |
| 煥乎堂 | 本店 | 〒371-0023 前橋市本町1-2-13
☎0272-35-8111 |
| 須原屋 | 本店 | 〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-3-20
☎048-822-5321 |
| 岩波ブックセンター | 信山社 | 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3
☎03-3263-6601 |
| 東京堂書店 | 本店 | 〒101-0051 千代田区神田神保町1-17
☎03-3291-5181 |
| 芳林堂書店 | 高田馬場店 | 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場
1-26-5 F Iビル
☎03-3208-0241 |
| ジュンク堂書店 | 池袋本店 | 〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-15-5
☎03-5956-6111 |
| 有隣堂 | 本店 | 〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町1-4-1
☎045-261-1231 |
| Booksなかだ | 本店専門書館 | 〒939-8212 富山市掛尾町180-1
☎076-492-1192 |
| うつのみや | 柿木島本店 | 〒920-0962 金沢市広坂1-1-30
☎076-234-8111 |
| 平安堂 | 長野店 | 〒380-0825 長野市末広町1355-5
☎026-224-4550 |
| 精文館 | 書店 | 〒440-8517 豊橋市広小路1-6
☎0532-54-2345 |
| ちくさ正文館 | 本店 | 〒464-0075 名古屋市千種区内山3-28-1
☎052-741-1137 |
| ジュンク堂書店 | 京都店 | 〒600-0000 京都市下京区四条通柳馬場東
入ル立売東町20-1
☎075-252-0101 |
| 旭屋書店 | 本店 | 〒530-0057 大阪市北区曾根崎2-12-6
☎06-6313-1191 |
| ジュンク堂書店 | 大阪本店 | 〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20 |

堂島アバンザ1～3F

ジュンク堂書店	難波店	☎06-4799-1090 〒542-0075 大阪市中央区難波千日前12-7 Y. E. S. NAMBAビル
ジュンク堂書店	三宮店	☎06-6635-5330 〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-6-18
フタバ図書	T E R A	☎078-392-1001 〒735-8588 広島県安芸郡府中町大須2-1-1 ダイヤモンドシティ・ソレイユ
りーぶる	天神	☎082-561-0770 〒810-0001 福岡市中央区天神4-4-11 福岡ショッピングプラザ6F
ジュンク堂書店	福岡店	☎092-713-1001 〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-13 天神 MMT ビル
		☎092-738-3322

2006年6月現在

歴史書懇話会ホームページ

<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>

歴史書懇話会会員社ホームページ

青木書店	http://www.aokishoten.co.jp/
明石書店	http://www.akashi.co.jp/
大月書店	http://www.otsukishoten.co.jp/
学生社	http://www.gakusei.co.jp/
柏書房	http://www.kashiwashobo.co.jp/
京都大学学術出版会	http://www.kyoto-up.or.jp/
思文閣出版	http://www.shibunkaku.co.jp/
東京大学出版会	http://www.utp.or.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://homepage3.nifty.com/douseisha/
塙書房	http://www.hanawashobo.co.jp/
法藏館	http://www.hozokan.co.jp/
山川出版社	http://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

今年も7月6日(木)～9日(日)の4日間、東京ビッグサイトにて、「第13回東京国際ブックフェア」が開催されます。歴史書懇話会は、今回も新刊書・話題書を取り揃え、皆さまのご来場をお待ちしています。なお、会期中にご来場のお客さまに、「歴史図書総目録2006」と「歴史書通信(最新号)」を差し上げます。ぜひ、お越し下さい!

- ジュンク堂書店仙台店「歴史連続フェア」開催中
7回「2006 歴史基本図書フェア」5月～6月
- 岩波ブックセンター信山社「歴史連続フェア」開催中
「京都大学学術出版会入会1年記念フェア」6月
「チンギス・ハンのモンゴル建国800周年記念フェア」7月
- リプロ金沢店「歴史連続フェア」開催中
「あなたはどっち九州 vs 近畿邪馬台国」5/下旬～6/下旬
- 今井書店「歴史連続各社フェア」ロングランで開催中!
本の学校今井ブックセンター(米子市)「京都大学学術出版会フェア」6月～7月
今井書店吉成店(鳥取市)「京都大学学術出版会フェア」6月～7月
- 紀伊國屋書店徳島店「歴史連続フェア」開催中
「チンギス・ハンのモンゴル建国800周年記念フェア」7月
- ブックセンタークエスト小倉本店(北九州市)・2階で開催!
「歴史書大フェア」6/14～8/27 入門書から専門書まで3000冊のビッグイベント

上賀茂のもり・やしろ・まつり
大山喬平監修／石川登志雄・宇野日出生・地主智彦編
本年三月に神社所蔵の約一万四千点の文書が重要文化財に指定されたことを記念して、同社主催の歴史文化講座の成果をまとめ、上賀茂神社をめぐる神事・歴史・文化をわかりやすく紹介。
最新刊 ▼A5判・四〇〇頁／定価二、九四〇円

中世京都の都市と宗教

河内将芳著
これまで「町衆」の祭礼としてイメージされてきた中世の祇園会(祇園祭)や「町衆」の信仰とされてきた法華信仰・法華宗など、都市社会と宗教との関係について、山門延暦寺に関する研究成果や中近世移行期統一権力の宗教政策論に即してとらえ直すことにより、その実態をあらためて問い直す。
▼A5判・四一六頁／定価七、一四〇円

三藐院 近衛信尹 残された手紙から
前田多美子著
「寛永の三筆」として名高い近衛信尹の波瀾の生涯を残された手紙から読み解き、隠れた素顔を明かに、能書としていかに遇されてきたのか、その書とはどのようなものであったのかを考証(カラー口絵ほか挿図40点) ▼A5判・二七二頁／定価二、四一五円

近世儒者の思想挑戦 本山幸彦著
林羅山・熊沢蕃山・貝原益軒・荻生徂徠・松平定信・佐久間象山などの思想家が各々の時代の課題とどのようにとらえ、解決策を提示したかを明かす。 ▼A5判・三一四頁／定価七、八七五円

昭和初期 移民の手紙による生活史 ◎ブラジルのヨッちゃん◎
中野卓・中野進編
昭和三年(一九二八)一月にブラジルへ移民として出国した中野義夫が日本へ送った書簡を中心に編集。昭和という時代の側面をとらえた貴重な資料。 ▼A5判・二六〇頁／定価二、九四〇円

●日本軍事史研究の精華を集成する

天皇の軍隊と

日中戦争



藤原彰 46判・2940円

日本現代史・軍事史研究をリードした著者晩年の論文を精選収録。なかでも「三光作戦」を扱った論文は、今後の研究の礎石となるものである。ほかに天皇の軍隊の特質をわかりやすく説いた作品、日本兵が降伏後も共産党軍と戦う「備兵」として中国戦地に残留させられた経緯と責任を明らかにした貴重な研究、歴史家としての回想などを取めた。

【本文】
天皇の軍隊の特色
唐殺と性暴力の原因

南京攻略戦の展開
日中戦争と戦後補償

日中戦争における捕虜虐殺
「三光作戦」と北支那方面軍

抗日根拠地への掃蕩補償作戦

主な 目次

海南島における日本海軍の「三光作戦」
日本軍から見た反戦運動

命令された最後のたたかい
——第一軍の山西残留について——

ある現代史家の回想
対談 日本の侵略戦争と軍隊、天皇

●スペインの情熱を描く歴史叙述の最高傑作

黄金の川

スペイン帝国の興隆

ヒュー・トーマス 岡部広治監訳・林 大訳

本巻672頁(カラ・図版81点・24頁)・地図23図入
別巻192頁(家系図・注解文献1頁)・15750円

イスラム支配地奪還に燃える女王イサベル、アジアへの西航路発見にとりつかれたコロンブス、そしてマゼランが、波乱の時代を駆け抜ける。

税込価格

東京都文京区本郷2-11-9
電話03(3813)4651(代表)

大月書店

ホームページ
<http://www.otsukishoten.co.jp/>

盗賊の日本史

阿部 猛著

《新刊》四六判・一九五〇円

日本の代表的な盗賊石川五右衛門をはじめ、有名無名幾多の盗賊にまつわる史料を集め、興味つきないエピソードを満載。

旧石器時代の地域編年的研究

安齋正人・佐藤宏之編

《新刊》B5判・四七〇〇円

全国の地域編年の現状を把握すると共に、従来の限界・矛盾を問いただし、列島規模のあらたな地域編年案を提示する。

心と形の考古学

認知考古学の冒険

小杉 康編

A5判・二九〇頁・三〇〇〇円

度量衡の事典

阿部 猛著

四六判・三四頁・一九五〇円

江戸時代 ② 生類憐みの世界

根崎光男著

四六判・二五〇頁・二六二五円

日本の遺跡

シリーズ

企画・監修 坂井秀弥

① 山陽道駅家跡

◎四六判・上製・各巻一〇〇頁前後

岸本道昭著・二八〇〇円

② 秋田城跡

◎四六判・上製・各巻一〇〇頁前後

伊藤武士著・二八〇〇円

西日本の古代社会を支えた道と駅
最北の古代城柵
〔既刊〕①西部原古墳群／②吉野ヶ里遺跡／③虎塚古墳／④六郷山と田染荘遺跡／⑤瀬戸窯跡群／⑥宇治遺跡群／⑦今城塚と三島古墳群／⑧加茂遺跡／⑨伊勢斎宮跡／⑩白河郡衙遺跡群
〔続刊〕常呂遺跡／妻木晩田遺跡／ほか

同成社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 (価格は税込み)
TEL03-3239-1467 FAX03-3239-1466 振替00140-0-20618
<http://homepage3.nifty.com/douseisha> E-mail douseisha@nifty.com



戦国遺文

古河公方編 全一卷

佐藤博信〔編〕

東国政治史の中心的存在であった古河公方足利義氏までの歴史的位を知る貴重な史料。

本書は、東国における象徴的な存在であった関東足利氏の発給・受給文書及び参考文書約一五二〇通を編年により配列、収録したものである。本編はⅠ古河公方編、Ⅱ一族編、Ⅲ雪下殿・小弓公方編、Ⅳ奉行入編の四編に分け、喜連川氏として存続した関東足利氏の長期にわたる歴史的位を知ることができる文書史料。

A5判 四四〇頁 定価一八九〇〇円

戦国遺文

武田氏編 第六巻

柴辻俊六・黒田基樹・丸島和洋〔編〕

本書は最終巻として武田氏当主の発給のうち年未詳の意朱印状、年未詳の一族・家臣ら諸氏の発給文書、他氏からの受給文書、天正十年三月の武田氏滅亡後に、その名跡を継承した穴山(信君・勝地千代)の発給・受給文書、補遺文書を収録した。さらに全収録文書を対象とした人名・地名索引を付した。全巻完結! A5判 平均三四〇頁 定価各一七八五〇円

江戸時代の古文書を読む

徳川林政史研究所〔監修〕

寛政の改革

寛政期の古文書四点を影印で掲げ、解説文、読み下し文をつけて解説。古文書の独習に最適な入門書。シリーズの第四作目。定価二四一五円

古代東国地域史と出土文字資料

高島英之〔著〕

古代東国地域史試論と出土文字資料からみた在地村落社会の二部に分けて出土文字資料の精密な分析を通して古代社会を考察した。定価九九七五円

古記録による15世紀の天候記録

水越 允〔編〕

応永7年12月8日(明応9年12月1日)までの室町中期の日々の天候記録をまとめた。一〇〇年間の天候記録から読み解く歴史資料定価三九九〇〇円

古記録入門

高橋秀樹〔著〕

種々の日記の実例を紹介しながら古記録に必要な知識を解説。また、「玉葉」「民経記」をテキストに読み方を教示した入門書。定価三六七五円

東京堂出版

101-0051 東京都千代田区神田神保町1-17
電話 03-3233-3741 FAX 03-3233-3746

(価格表示)
は税込み

◆歴史家は20世紀を如何に生きたか？「20世紀の歴史学の形成に巨大な貢献を果たした」一七人の列伝完成！

20世紀の歴史家たち

(刀水歴史全書 45)

【編集】今谷 明・大濱徹也・尾形 勇・樺山紘一・木畑洋一
既刊 日本編「上・下」世界編「上・下」 四六・平均三〇頁 各五九四〇

第5巻 日本編(続) 間もなく完成 (左記は収録予定の歴史家と執筆者、配列は生年順)

- 狩野直喜(戸川芳郎) 桑原隲藏(磯波 護) 矢野仁一(狭間直樹) 加藤 繁(尾形 勇) 中村孝也(中田易也)
- 宮地直一(西垣晴次) 和辻哲郎(樺山紘一) 一志茂樹(古川貞雄) 田中惣五郎(本間恂一) 西岡虎之助(西垣晴次)
- 岡 正雄(大林太良) 服部之総(大濱徹也) 羽仁五郎(斎藤 孝) 坂本太郎(笹山晴生) 前嶋信次(窪寺紘一)
- 中村吉治(岩木由輝) 竹内理三(樋口州男) 清水三男(網野善彦) 江口朴郎(木畑洋一) 堀米庸三(木村尚三郎)
- 林屋辰三郎(今谷明) 岸 俊男(鎌田元一)

【内容見本呈]

復刻 雑誌『兵隊』

南支派遣軍報道部刊
【解題】大濱 徹也

【推薦】木村尚三郎・小沢昭一・鶴見俊輔・石田一郎
日中戦争中の広東に兵隊が自由に活動する雑誌「兵隊」があった。初代編集長は火野葦平。兵隊の日常生活や思いが描かれた不思議な雑誌の復刻
四六倍判・36冊4合本、一九四二頁、投稿三七四人、¥万二五〇〇

「補遺」37・38・39合本 四六倍判・一九四頁 ¥三二五〇
続く三冊を発売。最終号は昭和十九年五月二〇日発行

日本人と戦争

歴史としての戦争体験
大濱徹也著(刀水歴史全書 47) 四六二六〇頁 ¥五三〇

敵国日本

太平洋戦争時アメリカは日本をどう見たか？(刀水歴史全書 61)
H・バイアス著／内山秀夫他訳 四六二三五頁 ¥三〇〇

太平洋戦争にいたる道

あちりかか 記された日本(刀水歴史全書 74)
W・ライシヤー著／内山秀夫訳 四六二八四頁 ¥五九四〇

PR誌

「刀水」

No.9「史学概論」(未定稿) 後藤均平
立教大学での講義をもとに、晩年、病を押して執筆(無料贈呈)

6月刊 近刊

ベトナム戦争のアメリカ

四六二五〇頁 ¥三二五〇
白井洋子(刀水歴史全書75)

タイ国 近代の経済と政治 Pポパイチャト 著
C・ベイカー 著
A5 約七〇頁 予価¥二万三〇〇〇
日・タイセミナー訳

学生反乱

1969 立教大学文学部
松浦高嶺・速水敏彦・高橋秀 四六二二八頁 ¥九四〇

白人とは何か？

ホワイトネス・ステディズ人門
藤川隆男編(刀水歴史全書73) 四六二五七頁 ¥三三〇

貧乏貴族と金持貴族

M.L.フッシュ著／水井三明監訳和栗了和栗珠里訳 A5 二九〇頁 ¥四〇〇

シブリアン・コントロールとデモクラシー

タイアモンド、ブラットナー編／中道寿監訳 A5 二六六頁 ¥三三〇

21世紀の「世界史百科」を目指す！【内容紹介】

世界史の鏡

第一期50冊のテーマは五つ
①地理と海域 ②環太平洋権
③都市交易 ④文化と情報
⑤生活環境

樺山紘一編 全二冊、10月刊行開始 四六二一五〇頁 予価¥一五〇〇

(価格は税込)
〒101-0065 東京都千代田区
西神田2-4-1 東方学会本館

刀水書房

Tel.03-3261-6190 Fax.3261-2234
http://www.tousuishobou.com

世界現代史 35

ラテンアメリカ現代史 Ⅲ

「メキシコ・中米・カリブ海地域」

二村久則／野田隆／牛田千鶴／志柿光浩 著
先住民の伝統、ヨーロッパの技術、アフリカの文化が混じり合
い、かつ反発しあっているこれらの地域の共通性と多様性を
描き出す。 四六判 552頁 3465円

帝国の終焉とアメリカ

アジア国際秩序の再編

渡辺昭一 編
アジアにおける植民地支配の終焉と、パクス・ブリタニカから
パクス・アメリカーナへの（ゲモニーの交代に）着目し、二〇世紀
の世界の歴史的發展過程を明らかにする。 3360円

ヒストリア

最新刊

各1365円

22 シェバの女王

伝説の変容と歴史との交錯

クレオパトラにも引けをとらないほど有名なシェバの女王。
しかしその実態は謎に包まれたままである。幾重にも重
なつて出来た伝説の中に潜む真実を明らかにする。

萩 勇造 著

23 ヘロドトスとトウキユイデス

歴史学の始まり

偉大な歴史家ヘロドトスとトウキユイデスはペルシア戦争
とペロポネソス戦争を描いた二つの作品を残した。その時
代背景とともに、彼らの歴史叙述の方法を検討し、歴史
叙述が歴史学にいたる端緒を探る。

桜井万里子 著

結社の世界史 全5巻

全巻完結

綾部恒雄 監修 四六判 平均360頁 各3360円

① 結衆・結社の日本史

福田アジオ 編

座・講・社中・政社倶楽部など代表的な結衆・結社を取り上
げ、その時代背景を視野に入れながら社会結合のありようを
多面的に考察する。 7月初旬発売

② 結社が描く中国近現代

野口鐵郎 編

白蓮教、太平天国、義和団、中国同盟会、近衛兵、蛇頭；等
々。変革の主体として時代を拓いた結社に着目し、激動する
中国の歴史と社会を考える。

③ アソシアシオンで読み解くフランス史

福井憲彦 編

人と人々を繋ぐソシアビリテの絆に着目
し、アンシャン・レジームから現代にいたるフランスの歴史
を、斬新な視点で読み直す。

④ 結社のイギリス史 クラブから帝国まで

川北稔 編

コーヒールハウスをはじめ、王立協会、フ
エビアン協会、ナショナル・トラストなど、結社が支え
たジェントルマンの国の歴史を考える。

⑤ クラブが創った国 アメリカ

綾部恒雄 編

メイフラワー号の上陸以来、多種・多様な結社リクラブに
よつて歴史を刻んできたアメリカ。現在も宗教や民族で結
ばれた無数のクラブが存在するというアメリカ社会の特質
を探る。

山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13 税込
電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp/>

江戸文化をよむ

倉地克直著 茶の湯から、歌舞伎、俳諧、浮世絵、幕末の儒学まで、
分りやすく解説した江戸文化入門
2004年●5月の新刊



宮田登 日本を語る 全16巻
毎月1冊刊行中
（内容案内送付）

4 俗信の世界

人は神や仏に何を祈るのか。日本的な現世利益の観念を、祈願・禁忌・予兆、占い、まじないなどの様々な具体例を通して解明。
2007年●5月の新刊

5 暮らしたと年中行事

ハレ、カミコト、正月、トンド焼き、彼岸、八朔、日本人の生活リズムや季節感、行事の意味とは。
批判的・民俗学への道●すくいの神とお曹子さん●はやり神と民族宗教●各2700円
2007年●6月の新刊

幕末維新の個性 全10巻 刊行中（2ヶ月に1冊刊行）
（内容案内送付）



6 井伊直弼

「團圓の元勳か」「国賊か」。茶道と武士道を重んじ、謙とした信条に生きた政治家の個性に迫り、独裁者と評された実像を捉え直す。
2006年●5月の新刊

近世国家解体過程の研究

藤野 保善 (全2冊) 前編 204100円 / 後編 200000円 ●6月の新刊
幕府と藩との対抗関係を軸に、幕政改革と藩政改革の諸過程、幕末諸藩の政治動向を検証。近世国家解体の諸過程と維新の全貌を解明。 月刊 近世国家史の研究 幕藩制と維新体制 210000円

大坂

摂津 河内 和泉
「街道の日本史3」 今井修平・村田路入編
難波宮・赤吉の城から天下の台所へ。大坂の歴史と上方文化の発信と伝統を探る。
2007年●6月の新刊

写真集 明治の記憶

学習院大学所蔵写真 504000円 ●6月の新刊
千島列島の開拓、八甲田山雪中行軍など明治の世相を現在に伝える第一級資料。
武部敬夫・中村一紀編 100000円

歴史文化ライブラリー ●全冊17000円

213 江戸八百八町に骨が舞う 人骨から解く病氣と社会
谷畑美帆著 将軍から近安まで、発掘された人骨から探る江戸の病氣と暮らし。 ●5月の新刊

214 赤穂浪士の実像 谷口賢子著 ●6月の新刊
われわれはまだ、本当の姿を知らない。いま明らかになる赤穂事件、衝撃の真実！

日本古代王権の研究 栗本敬夫著 200000円 ●6月の新刊
倭王権の権力構造、ミコヒメミコ論「聖徳太子」不即の理由など、特質を多角的に追究

中世東国の荘園公領と宗教 講津睦夫著 200700円 ●5月の新刊
足利・安達氏らを輩出した荘園・公領の実態と宗教の展開を、文献・考古資料を渉猟し解明

中世南都の僧侶と寺院 迫地千壽著 204000円 ●5月の新刊
鎌倉期・革新運動を行った南都仏教の中世の展開を、乗師寺・大安寺・広隆寺の信仰から追究

百姓一揆と義民の研究 保坂 智著 204000円 ●6月の新刊
闘争形態や持物など作法の分析と、後世の義民物語の成立過程から、一揆研究を再構築

近世大坂の都市社会 塚田 孝著 240000円 ●5月の新刊
さまざまな身分集団が重層的に活動し、社会を形成した近世都市・大坂の特質を解明する。

歴史文化セレクション

名著を精選し復刊する新シリーズ誕生！
全13冊 刊行開始
（内容案内送付）



神話と歴史 直木孝次郎著 241500円 ●5月の新刊
歴史教育への「神話問題」などに、鋭い批判と厳しい良心で取組んだ名著。今よみがえり！

江戸ッ子 西山松之助著 170000円 ●5月の新刊
江戸文化の精髓「いき」と「はり」。その創出の主体であった江戸ッ子の実像を探る。

室町戦国の社会 商業・貨幣交通 永原慶一著 241500円 ●6月の新刊
民衆が歴史の舞台に登場した躍動する時代を鮮やかに描き出す。

(価格は税込)

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8
電話03-3813-9151(代表)

吉川弘文館

2006年版「出版図書目録」送呈
FAX.03-3812-3544 / 振替00100-5-244
http://www.yoshikawa-k.co.jp/

- 青木書店 175-0092 板橋区赤塚8-12-12 (板橋営業所) <担当者・古川 浩>
TEL. 03-5997-4051 FAX. 03-5967-7691
- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5 <担当者・千葉陽介>
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3 <担当者・石田 亘>
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 大月書店 113-0033 文京区本郷2-11-9 <担当者・大和定幸>
TEL. 03-3813-4651 FAX. 03-3813-4656
- 学生社 123-0864 足立区鹿浜3-27-14 <担当者・林 義則>
TEL. 03-3857-3031 FAX. 03-3857-3037
- 柏書房 113-0021 文京区本駒込1-13-14 <担当者・竹内茂善>
TEL. 03-3947-8251 FAX. 03-3947-8255
- 京都大学学術出版会 606-8305 京都市左京区吉田河原町15-9 京大会館内 <担当者・堤 紀子>
TEL. 075-761-6182 FAX. 075-761-6190
- 思文閣出版 606-8203 京都市左京区田中開田町2-7 <担当者・中江俊治>
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 東京大学出版会 113-8654 文京区本郷7-3-1 (東大構内) <担当者・山坂大樹>
TEL. 03-3811-8814 FAX. 03-3812-6958
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17 <担当者・馬場辰也>
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1 <担当者・中村文江>
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8 <担当者・吉田幸一>
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16 <担当者・白石タイ>
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 <担当者・西村明高>
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13 <担当者・蜂谷起義和>
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8 <担当者・横井真木雄>
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2006年6月26日発行・第166号

発行 歴史書懇話会

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店